

2022年GRESBリアルエステイト評価について

当社がアセットマネジメント業務を受託し運用するジャパンレジデンシャルプロパティファンド（以下「JRPF」という。）につきまして、2022年に実施されたGRESBリアルエステイト評価において「3スター」を取得いたしましたので、お知らせします。

記

1. GRESBの概要

GRESBは、不動産会社・ファンドの環境・社会・ガバナンス（ESG）配慮を測る年次のベンチマーク評価及びそれを運営する組織の名称であり、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に2009年に創設されました。

投資先の選定や投資先との対話にGRESBデータを活用する投資家メンバーは、現在170機関（運用資産額（AUM）は51兆米ドル超（1米ドル145円換算で、7,395兆円））に上り、日本でも、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめ、複数の機関がGRESB評価結果を利用しています。2022年に実施されたGRESBリアルエステイト評価には、世界で1,820の上場・非上場の不動産会社・ファンドが参加しました。

2. 評価結果

JRPFは、2022年GRESBリアルエステイト評価において、総合スコアのグローバル順位により5段階で格付されるGRESBレーティングで「3スター」を取得しました。



（備考）

JRPFは当社がオランダのマルチアセット年金マネージャーであるPGGMから運用を受託し、2016年12月から運用を開始したジョイントベンチャーファンドです。2022年10月18日時点における投資規模は物件数39棟、物件価格約1133億円となっております。物件詳細は下記サイトをご参照ください。

<https://dimus.jp/>

以上